

コミュニティ・スクール Q&A

Q1. なぜコミュニティ・スクールが必要になるのですか？

A1. 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、課題の解決と子どもたちの豊かな成長のためには、「地域総がかり」での教育の実現が不可欠だからです。コミュニティ・スクールは、地域住民と学校が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる制度で、この仕組みによって、保護者や地域の皆さんがより学校運営に参画しやすくなります。

Q2. 学校評議員やPTAはどうなるの？

A2. 学校評議員は学校運営協議会に移行します。PTAにはコミュニティ・スクールを通じて、未来を担う子どもたちの健やかな成長に携わっていただくことを想定しています。



地域学校協働活動ボランティア人材バンクへの登録について

▶あなたの特技や技能を子どもたちのために活かしてみませんか？

地域学校協働活動ボランティアは、子どもたちや学校のために役立ちたいという思いがあれば誰でも参加できます。できる人が、できるときに、できる範囲内で活動することを基本としています。活動を行う際は、学校ごとに配置している地域学校協働活動推進員がサポートします。
※活動の一例は中面「地域学校協働活動ボランティア人材バンク」をご覧ください。

▶ぜひご登録をお願いします

地域学校協働活動ボランティア登録票を生涯学習課へ提出します。登録票は市ホームページからダウンロードしていただくか、生涯学習課の窓口でも配布しています。



地域とともに子どもを育む学校づくり

コミュニティ・スクール

野々市市では、地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を目指し、家庭・地域・学校が連携、協力しながら行う「地域とともにある学校づくり」を推進します。

その目標を達成するために、市内各小中学校に学校運営協議会を設置し、その協議会と学校・地域の架け橋となる地域学校協働本部が連携・協働する仕組みをコミュニティ・スクールと言います。



生涯学習課

〒921-8510 野々市市三納一丁目1番地
TEL: 076-227-6117 FAX: 076-227-6258

野々市市教育委員会



学校

学校運営協議会(各校に設置)
地域学校協働活動推進員を各校1名配置

学校運営協議会には法律上、3つの権限が与えられています。また、学校と地域が課題や情報等を共有し、熟議し、意思を形成する場となります。



学校運営協議会の3つの権限

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5】

- 校長が作成する学校運営の**基本方針**を承認する
- 学校運営**について、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- 教職員の採用その他の任用に関する事項(特定の職員に関するものを除く)について、教育委員会に対して意見を述べる

学校運営の
基本方針

学校運営・
教育活動

校長

熟議とは？

学校関係者と地域の皆さんが「熟慮」と「議論」を重ねながら、課題解決をめざす対話のことです。

学校運営協議会では、それぞれの取組(活動)について

- 何を目的・目標にして行うのか？
- どのように行うのか？(効果的な手段は?)
- 学校の「教育課程」とどう関連付けるのか？等を明確にすることが重要です。

熟議のテーマ

防犯・防災	いじめ・不登校
地域貢献	学力向上
地域課題解決学習	郷土学習 など

コミュニティ・スクール

連携・協働



支援活動の依頼・相談

依頼・相談に対する支援



期待される成果

- 遊びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習
- 放課後子ども教室
- 学校に対する多様な協力活動
- 家庭教育支援活動
- 地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等へ参画

地域



地域学校協働本部(生涯学習課内)
地域学校協働活動推進員(統括)を1名配置

地域学校協働本部は、地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の地域学校協働活動を推進する拠点です。

地域学校協働本部の3つの要素

- コーディネート機能(学校と地域の連絡調整、ゲストティーチャーの派遣など)
- 学校に対する多様な支援活動(ボランティアの募集など)
- 継続的な活動を充実させ、幅広い地域住民や団体等の参画を得るための工夫を行うこと(地域の特色を生かした取組の企画・提案など)

頼れる地域の応援団

地域学校協働活動 ボランティア人材バンク

ボランティア人材バンクは、地域の方々がボランティア登録をし、学校の要望に応じた活動を行い、支援していく仕組みです。

活動例

- 本の読み聞かせや図書整理
- パソコン学習の補助
- 庭木剪定や花壇等の環境整備
- 職場体験や職業についての話
- 農業体験(田植え、収穫等)
- 郷土料理の紹介や食育支援
- 郷土芸能や町の歴史などの紹介
- 書道や英会話等の学習活動補助
- 英検、数検等の受験指導
- 趣味を活かした音楽、カメラ、料理、手芸、絵画、俳句 など

幅広い地域住民や団体等の参画

地域住民

文化団体

スポーツ
団体

PTA

企業・
NPO

社会教育施設
・団体

など

地域総がかりによる子どもたちの育成

「地域とともにある学校づくり」を一体的に進めるためには、学校関係者、地域住民が目標やビジョンを作り、共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議等がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれの持つ役割を十分に機能させ、相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、未来を担う子どもたちの成長を支えていきます。

